



様式第9(第5条関係)

(その1)

令和 5 年 4 月 5 日

新城市議会議長

長 田 共 永 様

氏名 齊 藤 竜 也

令和4年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和4年度政務活動費収支報告書

氏名 齊藤 竜也

(会派にあつては、名称及び代表者氏名)

1 収 入

政務活動費 150,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	49,548	参加費¥9,000、宿泊費¥9,000、 視察費¥14,000交通費¥17,020振込手数料¥528
広 報 費	85,804	チラシデザイン費、折込費、印刷費 振込手数料¥330
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	9,142	共同使用コピー機リース料コピー使用料 <u>9,142円</u>
資 料 購 入 費	0	
合 計	144,494	

3 残 額

5,506 円

(注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

研修参加報告

新城市議会議員 齊藤 竜也

研修日 令和4年10月19日、20日

研修タイトル 全国市議会議長会研究フォーラム

場所 ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）

内容 添付資料参照

行程 往路 新城（飯田線）→豊橋（新幹線）→名古屋（特急しなの）→長野

復路 長野（特急しなの）→名古屋（新幹線）→豊橋（飯田線）→新城

【参加報告】

第1部 基調講演「コロナ後の地域経済」

コロナ禍で見た新たな働き方（エッセンシャルワーカー）などについて、今後の経済社会においてイノベーションをもたらす大きな起点という評価をしているような内容でした。私としてはあくまでコロナ禍であって「伸びたもの」「ダメージを負ったもの」を働き方の区分（職種）でなくベネフィットでとらえるほうが正解だと考えました。特に過疎、人口減少深刻な新城においてはなおさらに研究の余地があると思いますので、今後行政において取り組むべきと提案していきます。

第2部 パネルディスカッション「地方議会のデジタル化の意義と課題」

第4部 課題討議「地方議会のデジタル化の取組報告」

同内容ですのでまとめて所感とします。地方議会のデジタル化は新城市議会でも進めてきておりますが、他市町においては大きなハードルがまだまだ多くのこされているというのが実情のようでした。年配議員のリテラシーは特に大きく、そのほとんどが「扱えない」ではなく「扱うのをあきらめている」ということでしょう。テクノロジーは人々の生活や社会活動を豊かにしますが、本当の豊かさは人がテクノロジーに近寄らないと最大効率化できない。つまり人が変わらなければ最終的なデジタル化にはならないということだと感じます。それがすべてではありませんが、うまく段取りして進めなければ議員間での能力差が出てしまいます。それを良しとするか否かでしょう。

第5部 視察 6次産業化の先進的な取り組みと閉校した小学校の再活用事例

① 6次産業化視察について

株式会社サンクゼールの地元に根付いた事業展開は素晴らしく、圧倒的にクオリティが高かった。一般的に6次産業化を地方で進めるには規模とクオリティの向上が非常に難しい。株式会社サンクゼールはその両方を創業者のパワーで成し遂げており、同様の成功には当然同様のマンパワーが必要と感じました。では我々はどうするか。簡単にマンパワーは手に入らない。地域で手を取り合って実績を造っていく仕組みについて今後学ぶ必要があります。

② いいづなコネクトWEST

廃校リノベーションとしては中身のクオリティは非常に高く感じました。しかしながら運営においては多くが助成金のサポートと、指定管理費での補てんありきになっており、今後の新城の公共施設の個別管理には参考となりにくい案件でした。地域の方々と造り上げるプロセスについては大いに学ぶべきであり、その部分をしっかりヒヤリングしてきましたので今後につなげていきます。

第17回

全国市議会議長会 研究フォーラム

National Association of Chairpersons of City Councils



開催のご案内

参加申込み期間

〔議長を含めた全ての対象者のお申込み〕

7月19日(火) 10時00分～7月29日(金) 17時00分

開催日：令和4年10月19日(水)・20日(木)

場 所：ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）

主催：全国市議会議長会 後援：総務省（予定）

協賛：全国市議会議員互助会（有）都市企画センター

実施：第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会



開催概要

日時	第1日目：令和4年10月19日（水）13時00分開会（開場・受付 11:30） 第2日目：令和4年10月20日（木）9時00分開会（開場 8:30）
場所	ホクト文化ホール（長野県県民文化会館） 長野県長野市若里1-1-3 ※会場等へのアクセスについては、P.8「会場へのアクセス」をご参照ください。
主催	全国市議会議長会
後援	総務省（予定）
協賛	全国市議会議員互助会、（有）都市企画センター
プログラム内容	<p>第1日目（10/19）</p> <p>第1部 基調講演 「コロナ後の地域経済」（予定） 富山 和彦 株式会社 経営共創基盤(IGPI) グループ会長 株式会社 日本共創プラットフォーム(JPIX) 代表取締役社長</p> <p>第2部 パネルディスカッション 「地方議会のデジタル化の意義と課題」（予定） コーディネーター 人羅 格 毎日新聞社論説委員 パネリスト 岩崎 尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授 牧原 出 東京大学先端科学技術研究センター教授 湯浅 壱道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 寺沢 さゆり 長野市議会議長</p> <p>第3部 意見交換会（ホテルメトロポリタン長野）</p> <p>第2日目（10/20）</p> <p>第4部 課題討議 「地方議会のデジタル化の取組報告」（予定） コーディネーター 谷口 尚子 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 事例報告者 取手市、可児市、西脇市</p> <p>第5部 視察（希望者のみ）</p>
定員	2,300名（予定） ※申込者が定員を超えた場合は、抽選を行います。 ※申込み時に議長優先を選択した議長につきましては、抽選を行わずメイン会場（大ホール）での参加当選が決定となります。それ以外の申込者については、抽選により「参加：メイン会場（大ホール）」、「参加：中継会場（中ホール）」、「キャンセル待ち」を決定致します。 ※議会事務局職員の申込みにつきましては、各市区につき1名を限度とさせていただきます。 ※詳細は、P.9～12「参加申込みのご案内」をご参照ください。
参加費	1人9,000円



タイムスケジュール

第1日目 10月19日(水) [会場：ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）]

11:30 開場・受付

13:00 開会式

13:20 第1部 基調講演

「コロナ後の地域経済」（予定）

富山 和彦 株式会社 経営共創基盤(IGPI) グループ会長
株式会社 日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役社長

14:20 休憩

14:40 第2部 パネルディスカッション

「地方議会のデジタル化の意義と課題」（予定）

コーディネーター 人羅 格 毎日新聞社論説委員

パネリスト 岩崎 尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授

牧原 出 東京大学先端科学技術研究センター教授

湯浅 壘道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授

寺沢 さゆり 長野市議会議長

16:40 次期開催地挨拶

16:50 終了

17:30 第3部 意見交換会 [会場：ホテルメトロポリタン長野]

18:30 終了

第2日目 10月20日(木) [会場：ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）]

8:30 開場・受付

9:00 第4部 課題討議

「地方議会のデジタル化の取組報告」（予定）

コーディネーター 谷口 尚子
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授

事例報告者 取手市、可児市、西脇市

11:00 閉会式

11:30 第5部 視察

講師プロフィール



基調講演

講師



富山 和彦 とやま・かずひこ

株式会社 経営共創基盤(IGPI) グループ会長
株式会社 日本共創プラットフォーム(JPIX) 代表取締役社長

ポストコンサルティンググループ、コーポレートディレクション代表

取締役を経て、2003年 産業再生機構設立時に参画しCOOに就任。

解散後、2007年 経営共創基盤 (IGPI) を設立し代表取締役CEOに就任。

2020年10月よりIGPIグループ会長。

2020年 日本共創プラットフォーム(JPIX)を設立し代表取締役社長就任。

パナソニック社外取締役。

経済同友会政策審議会委員長、財務省財政制度等審議会委員、内閣府税制調査会特別委員、金融庁スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議委員、国土交通省インフラメンテナンス国民会議会長、内閣官房新しい資本主義実現会議有識者構成員、他政府関連委員多数。著者多数。

パネルディスカッション

コーディネーター



人羅 格 ひら・ただし

毎日新聞社論説委員

北海道札幌市生まれ。毎日新聞政治部官邸キャップ、同副部長、論説副委員などを経て現職。政局取材を主に担当。地方自治が専門領域。

都道府県議会制度研究会委員、総務省過疎問題懇談会委員、マニフェスト大賞審査委員、東京都明るい選挙推進協議会委員。

現在、週刊「エコノミスト」(毎日新聞社)で政治コラム「東奔政走」を担当。月刊「地方議会人」(中央文化社)にて「変える議会、変わる議会—改革はどこまで進んだか」を連載中。

パネリスト



岩崎 尚子 いわさき・なおこ

早稲田大学電子政府・自治体研究所教授

早稲田大学大学院博士課程修了(国際情報通信博士)。専門はCIO、電子政府・自治体、デジタル・スマートシティ、国連SDGsとDX、国際比較による地方行政のデジタル化の研究など。現在、第33次内閣府地方制度調査会委員、総務省政策評価審議会委員、デジタル庁政策評価有識者会議委員、J-LIS(地方公共団体情報システム機構)経営審議会委員会委員を務める。

このほか、東京都、千葉県、兵庫県など都道府県のデジタル化に委員としても尽力している。

現在、NPO法人国際CIO学会理事長兼務。

主な著書は「CIOの新しい役割」(かんき出版)、「2030年日本経済復活へのシナリオ(共著)」(毎日新聞社)ほか多数。



パネリスト

牧原 出 まきはら・いづる

東京大学先端科学技術研究センター教授

愛知県西尾市生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学法学部助手、東北大学法学部助教授、東北大学大学院法学研究科教授を経て、2013年4月より現職。日本工学アカデミー会員。総務省自治体戦略2040構想研究会座長代理、第32次・第33次地方制度調査会委員。専攻は行政学・政治学。オーラル・ヒストリーの手法を活用した戦後政治研究や理論と実務・自然科学と社会科学をクロスオーバーさせつつ、人口減時代の先端公共政策研究に取り組む。「新型コロナ時代の都道府県・市町村」「ガバナンス」2020年7月号、「『いわゆるオンライン会議』としての地方議会の可能性」「地方自治」第880号、「これからの地方自治と改革」「ガバナンス」2022年1号。



パネリスト

湯浅 壑道 ゆあさ・はるみち

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授

1970年生まれ。慶応義塾大学大学院博士課程退学。九州国際大学教授・副学長、情報セキュリティ大学院大学教授・副学長を経て2021年より現職。専門は情報法・電子政府・電子自治体。電子投票やインターネット投票、個人情報保護、情報セキュリティなど政治や行政の電子化に関する制度や法律問題について研究。総務省情報通信政策研究所特別研究員、総務省選挙人名簿管理システム等標準化検討会構成員、法務省法制審議会委員、全国都道府県議会議長会デジタル化専門委員会委員、各地の自治体の情報公開・個人情報保護法関係審議会の委員などを務める。著書「電子化社会の政治と制度」(オブアワーズ)など。



パネリスト

寺沢 さゆり たらさわ・さゆり

長野市議会議長

1968年生まれ。日本福祉大学卒。平成19年10月から長野市議会議員を務め、連続4回当選。現在4期目。その間、決算特別委員会委員長、総務委員会委員長、福祉環境委員会委員長、議会運営委員会委員長を歴任。平成30年9月から令和元年10月まで第63代長野市議会副議長を務め、令和3年に明治30年から続く長野市議会において初の女性議長として、第51代長野市議会議長に就任。「市民と議会の意見交換会」を長野市議会では初めてオンライン併用で開催するなど、更なる議会活動のデジタル化について検討している。

課題討議



コーディネーター

谷口 尚子 たにぐち・なおこ

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授

1970年広島生まれ。慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位取得退学、博士(法学)、ミシガン大学客員研究員、東京工業大学准教授等を経て現職。専門は政治学・政治過程論(選挙分析、政策比較分析、有権者心理・行動分析等)。社会的には、地方政治制度改革・住民参画とデジタル化等を検討している。内閣府「地方分権改革有識者会議」議員(2013・現在)、総務省「第31・33次地方制度調査会」委員(2018・現在)、総務省「地方議会に関する研究会」委員(2014・2015)、全国都道府県議会議長会「デジタル化専門委員会」委員(2021・現在)、日本学術会議第一部会員・政治学委員会政治過程分科会委員長(2020・現在)、日本政治学会・日本選挙学会公共選択学会各理事(現在)。



会場へのアクセス

会場位置図

※JR長野駅東口より徒歩約10分。
(JR長野駅から会場へのシャトルバスの運行はありません。)



会場周辺案内図

《凡例》 ← 徒歩経路
 (P) 有料駐車場

【徒歩移動の場合(約10分)】
 JR長野駅東口デッキへ出て右側の階段を降り、道路を右方向へ直進してください。

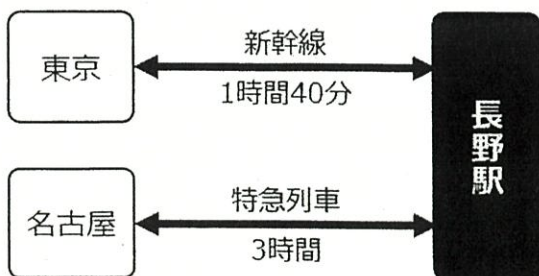
【タクシーご利用の場合】
 JR長野駅東口から約5分

【バスご利用の場合】
 JR長野駅東口からバス利用乗り場21番から日赤線、「文化会館入り口」下車(乗車時間約3分) 会館まで徒歩5分
 ※1時間に2本程度の運行です

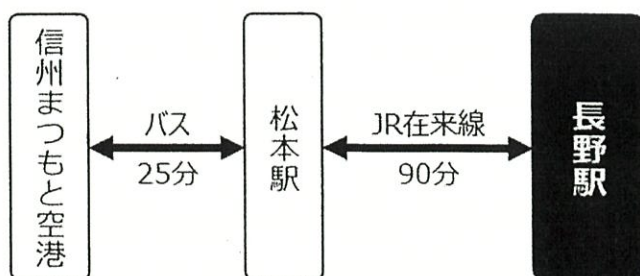
※会場のホクト文化ホール付近には、飲食店が少ないため、JR長野駅付近で昼食を済ませてからご来場ください。
 ※ホクト文化ホールの駐車場は、数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。会場に駐車できない際やマイクロバス等でお越しの際は、各自で駐車場を確保いただきますようお願いいたします。
 なお、メトロポリタン長野には意見交換会に参加される方の駐車場はありません。

長野市へのアクセス

JR



飛行機



Eコース 長野市：令和元年東日本台風による被災からの復興 視察

日帰り

コース
ポイント

令和元年東日本台風災害では、千曲川堤防が決壊し、浸水等により約900棟の建物が全壊しました。大規模半壊、半壊、一部損壊を加えると4,000棟を超え、地域の産業であるりんご農園などを中心とした農地が大きな被害を受けました。長野市がこれまで経験したことのない甚大な災害からの、復旧・復興の取り組みと現状を視察致します。

- 募集人員：30名、最少催行人員：25名 ● 旅行代金（お一人様あたり）：12,000円 ● 添乗員同行
- 代金に含まれるもの：貸切バス代金・昼食代金・視察入場料・添乗員費用

	行程	食事
10月20日 (木)	ホクト文化ホール 〓 ミールケア（昼食・講演） 〓 千曲川堤防（視察） 〓 11:30 12:00 13:00 13:10 14:00	朝 × 昼 ○ 夜 ×
	〓 新幹線車両センター（視察） 〓 りんご農園（視察・りんご狩り体験） 〓 14:10 14:40 14:50 15:40	
	〓 アグリながぬま 〓 長野駅東口（17:00） 15:50 16:10	

【ミールケア】

幼稚園・保育園、介護福祉施設の給食サービスを全国展開する株式会社ミールケアは、令和元年東日本台風災害で本社、パン工場、レストランが甚大な浸水被害を受けた後、仮本社・仮工場での営業再開を経て、令和3年3月に全ての復旧工事を完了しました。100年先も、企業として地域に根を張り、地域に貢献できるようにと願いを込めて「みへの森」も整備しています。

【新幹線車両センター】

長野新幹線車両センターは、北陸新幹線（長野経由）の安全な走行のために車両保全や管理を行う施設です。令和元年東日本台風災害では、構内及び新幹線車両（120両）が冠水するなど設備等に甚大な被害を受けましたが、安心・安全な新幹線車両を提供するため、浸水対策を行っています。

Fコース 飯綱町：6次産業化の先進的な取り組みと閉校した小学校の再活用事例 視察

日帰り

コース
ポイント

サンクゼールは飯綱町に本社を置くワイナリーであり、製造のみならずショップ・レストランなど販売・通販事業も行うほか、ウェディング事業なども手掛けています。民間事業者としての、産業振興や観光振興など地域活性化の取組について視察致します。いづなコネクトWESTでは、廃校となった小学校の校舎を活用して様々な地域活性化に資する取り組みについて視察致します。

- 最少催行人員：40名 ● 旅行代金（お一人様あたり）：14,000円 ● 添乗員同行
- 代金に含まれるもの：貸切バス代金・昼食代金・視察入場料・添乗員費用

	行程	食事
10月20日 (木)	ホクト文化ホール 〓 〓 〓 サンクゼール・ワイナリー本社（昼食・視察） 〓 〓 〓 11:30 12:30 14:45	朝 × 昼 ○ 夜 ×
	〓 〓 〓 いづなコネクトWEST（視察） 〓 〓 〓 長野駅東口（16:45） 15:00 16:00	

【株式会社サンクゼール】

長野県飯綱町に本社がある食品メーカーで、ワインの醸造をはじめ、レストラン、売店経営など全国各地において事業展開しています。また、農林水産省が実施した調査において、「6次産業化への問題意識が高い」企業として優良ビジネスモデルの導入可能性についての調査対象になるなど、6次産業化の先進的な取り組みを行っています。

【いづなコネクトWEST】

廃校となった小学校の校舎をリノベーションして、自然豊かな環境・地域資源を活かした「自然・スポーツ・健康」の交流拠点として誕生した「いづなコネクトWEST」。人と人とを結びながら、様々な体験事業、健康増進、企業誘致等を展開し、関係人口増や定住につなげていく取り組みを行っています。

※記号の見方： バス 〓 徒歩 ……

※視察箇所は都合により変更になる可能性もございます。最終の視察コースは、最終案内にてご確認ください。

※日帰りの場合と1泊の場合で取消料の基準日が異なります。ご注意ください。

研修

費

JAキャッシュサービス

ご利用明細票

毎度ありがとうございます。ご利用明細は下記の通りでございます。
どうぞお確かめください。裏面の「ご案内」もあわせてご覧ください。

取引金融機関・店	取扱金融機関・店	機番	通番
[Redacted]			
取扱日	口座番号等		
04-10-11	[Redacted]		
お取引内容	お振込み		
手数料	¥528	お取引金額	¥32,000
おつり	お取引後残高		
時刻	12:51	[Redacted]	
お支払可能残高	[Redacted]		

トウブ・トップ・ツアーズ（カ様）

5221サイトウタツヤ様

*印紙税申告済納

済済済済済

*税務署承認済

JAバンク

領 収 書

No. 53190056040

2022年10月11日

齊藤 竜也 様

金額		百万			千			円
			7	1	7	0	2	0

但し 乗車券代金

上記金額確かに領収いたしました 「消費税等込み」

東海旅客鉄道株式会社

新城駅 現金出納社員 [Redacted]

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する

JAキャッシュサービス

ご利用明細票

毎度ありがとうございます。ご利用明細は下記の通りでございます。
 どうぞご確認ください。裏面の「ご案内」もあわせてご覧ください。

取引金融機関・店	取扱金融機関・店	機番	通番
取扱日		口座番号等	
05-03-01			
お取引内容	お振込み		
手数料	¥330	お取引金額	¥79,930
おつり	お取引後残高		
時刻	10:49		
お支払可能残高			

広報

費

サイトウ タツヤ様

* 時 終 務 時 終 納

飲 っ ぎ * * * * *

* 務 務 承 認 済



請求書

斉藤竜也 様

発行日 2023年2月28日

下記の通り、ご請求申し上げます。

案件名 B4チラシ デザイン制作費

ご請求金額 ¥79,930

内容・仕様	数量	単価	合計
B4 両面 デザイン制作費	1	60,000	¥60,000
入稿手数料	1	3,000	¥3,000
印刷費用 立替金	1	10,630	¥10,630

振込手数料はお客さまにてご負担をお願い申し上げます。

小計	¥73,630		
消費税	¥6,300		
総合計	¥79,930		

10%対象	¥63,000	消費税	¥6,300
対象外	¥10,630	消費税	—

【振込先】

【お支払い期限】 2023年3月31

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する

領収証
市議会議員
齋藤 竜也 様

令和 5年 3月 14日

金額 円 千 百 十 元
¥ 3696

50,000円
以上
収入印紙

但し 折込料 3360
消費税 336

折込枚数 1200枚
折込日 3/16日

上記金額正に領収いたしました。

種類

現金	
小切手	

松井新 株式会社

代表取締役 齋藤 竜也
愛知県 西12-1
〒441-2145
FAX 4167

扱者印

領収証

齋藤 竜也 様

No.

5年 3月 14日

金額 円 千 百 十 元
¥ 184819

但し 折込料 飲食料品等(軽減税率対象) 3/16日
上記正に領収いたしました

8%(税込・税抜)金額 消費税額等

10%(税込・税抜)金額 消費税額等

現金・カード・()

HISAGO#778

愛知県新城市作手高里
字郷ノ根30番地1
新 聞 屋
齋藤 勝
〒441-1423 電話0536-37-2

係

登録番号

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する

さいとう

斉藤 たつや

2022 » 2023 シーズン活動報告

市民の皆様に寄り添える活動を心掛け、
新たな気持ちで今回の報告を発行させていただきます。

2021年10月の選挙にて2度目の当選をいただき、新城市議会議員としての2期目をスタートさせていただきました。これまでこういった活動報告を出さず大変申し訳ございません。あつという間の1年が過ぎ去りましたが、残りの任期も全力で取り組んでまいります！

ご挨拶



常任委員会委員長に就任!

初の常任委員会委員長として経済建設委員会委員長に就任。
それに伴い以下多くの役を受けさせていただく形のスタートとなりました。

経済建設委員会は2期目にして初めて担当し、しかも委員長ということで序盤は議会で論戦できるだけの基礎知識と技術を蓄える期間となりました。また、その他の役職も初めてということでわからないことがないように今後も研究を重ねていき、市政にポジティブな影響を与える人材となれるよう精進します。



経済建設
委員会

委員長

総合政策
特別委員会

副委員長

議会運営
委員会

委員

東三河広域
連合議会

議員

一般質問ハイライト

令和4年3月

初! 経済建設 委員会代表質問!

新城市議会では3月定例会で予算大綱や市長所信などに対する代表質問として3常任委員長が代表質問を行います。
経済建設委員長として初めて代表質問し、「産業振興」「都市計画」「インフラ」などについて議論を交わしました。確認できた現状を今後のために活かしていく1年のスタートです。

令和4年6月

どうなる!? 中学校の部活動!

スポーツ庁の提言により、いよいよ現実問題となってきた中学校の部活動の地域移行。新城市はR5年度から複数学校の共同部活道からはじめ、徐々に地域移行し、中学校の部活動が学校運営でなくなる方向に進めます。
子供が減っている状況でどのような仕組みが教員にとって、そして子供たちにとってベストであるか、しっかりと見極め提案していきます。

令和4年9月

どうなった!? 廃校跡地問題!

数年前より置き去りにされてきた過疎地域の廃校跡地問題。1期目でも積極的に議会で取り上げてきましたが状況が変わらないまま今まで来ています。地域の声を聞くといっても「やれないことがはっきりしている」中で、行政からの良い提案はないのか!?現状は今まで大きく変わっていません。動かさないことには話にならないので動かします!

令和4年12月

どうする!? 公共施設のこれから!

廃校跡地問題をズバッと解決出来ない理由は、市内公共施設の多さとその処理について行政も困っているからです。新城東高校跡地の問題もでてきて、また公共施設で苦しめられる状況は避けたい。廃校跡地を抱える地域の問題解決のためにも市全体の計画をすぐに立てて実行しないと後世に無駄な物を残してしまいます!

公共施設のこれからの詳細は、裏面「斉藤VS公共施設 5年の戦い」へ

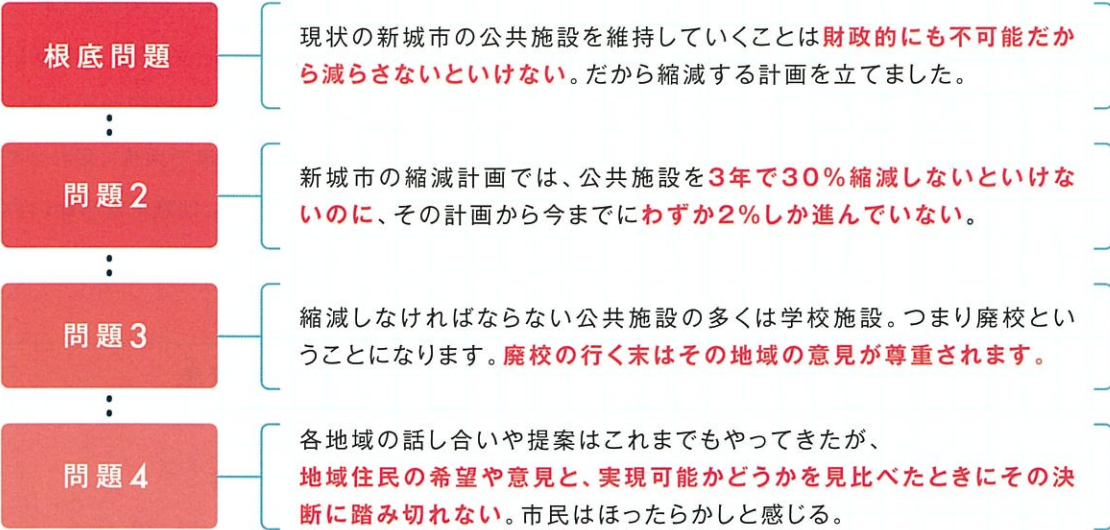




斉藤 vs 公共施設 5年の戦い



廃校跡地など、個別の施設について各地域の方は「なんとかならんかな?」と思っていると思います。各地域の施設がどうなるかは各地域ごとの意見が重要とのことですが、行政がその行動に踏み切れない大きな課題をフローで紹介します。



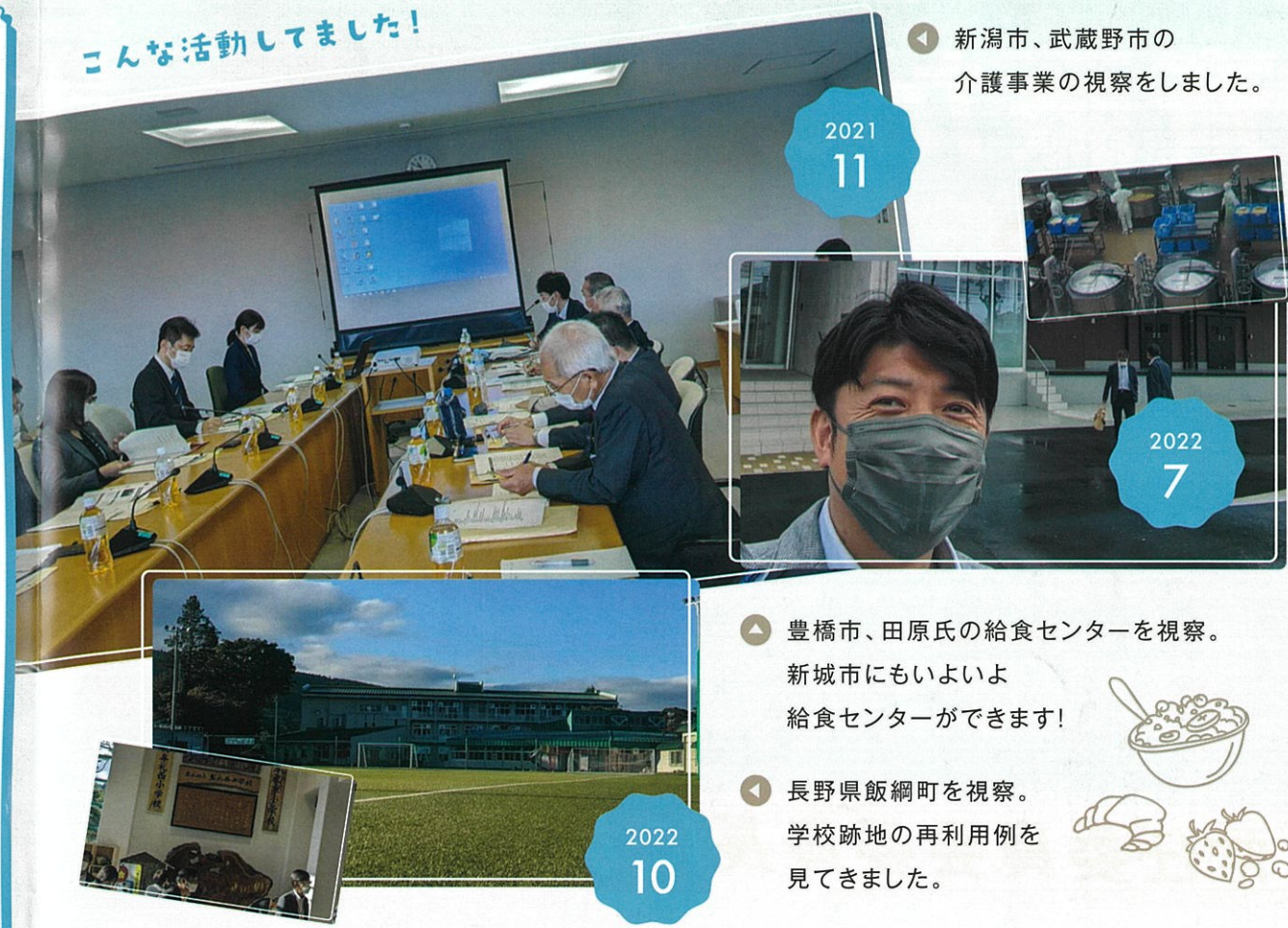
そこで竜也は…

「市民の意見が多様でどれにするか決めきれない」のが問題2に陥った理由です。だったら市から「どうしますか?」という丸投げではなく「こうしますがどうですか?」というように行動ベースの提案をしないと、大きな問題も小さな問題も解決しない。今年度はそこをしっかりとやって行動していきます。



皆さんの地域にある公共施設を次のステップに進めるためには大きな問題の解決も必要です。**「新東高校跡地」「学校給食センター」「こども園の再編」**など、現行施設ですら縮減も再編も長年やれていないのが現状です。これらを速やかに未来へと繋がらない限り過去の建物は置き去りになりかねません。地域課題の解決のためにこれらの早期推進を私は議会で発信と決断をしていきます。どうかご理解ご協力をよろしくお願いいたします!

こんな活動してました!



2021 11 新潟市、武蔵野市の介護事業の視察をしました。

2022 7 豊橋市、田原氏の給食センターを視察。新城市にもいよいよ給食センターができます!

2022 7 長野県飯綱町を視察。学校跡地の再利用例を見てきました。

2021年	12月	新城JC卒業 外部監事に就任青年のまちづくりのサポート開始
2022年	2月	東三河広域連合議会出席
2022年	3月	新城市議会3月定例会・部活動地域以降シンポジウムオンライン参加
2022年	4月	Youtubeチャンネル開設・部活動地域以降全国オンライン意見交換会に参加
2022年	5月	交付金事業B&G杯開催 作手にプロフットサル選手が来た!
2022年	10月	新城市議会意見交換会を開催
2022年	12月	新城市議会12月定例会・新型コロナウイルス感染

Youtubeチャンネル開設!
タッチチャンネル【新城市議会議員 斉藤たつや】

